

「再臨に備える」

ヨハネの手紙第1 2章26～29節

1

私はあなたがたを惑わす者たちについて、以上のことを書いてきました。しかし、あなたがたのうちには、御子から受けた注ぎの油がとどまっているので、だれかに教えてもらう必要はありません。その注ぎの油が、すべてについてあなたがたに教えてくれます。それは真理であって偽りではありませんから、あなたがたは教えられたとおり、御子のうちにとどまりなさい。子どもたち、キリストのうちにとどまりなさい。そうすれば、キリストが現れるとき、私たちは確信を持つことができ、来臨のときに御前で恥じることはありません。 1ヨハネ2:26-28

2

御子にとどまる

- 御子から受けた注ぎの油がとどまっている2:27
- あなたがたは、初めから聞いていることを自分のうちにとどまらせなさい。もし初めから聞いていることがとどまっているなら、あなたがたも御子と御父のうちにとどまります。1ヨハネ2:24
- 神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。1ヨハネ4:13
- 御霊はみことばを通して最も明らかに教える。

3

御子にとどまる

- 聖霊の重要な働き（役割）
- しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。ヨハネ14:26
- しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊はわたしの栄光を現わされます。ヨハネ16:13-14

4

御子にとどまる

- この救いは、初めに主によって語られ、それを聞いた人たちが確かなものとして私たちに示したものです。そのうえ神も、しるしと不思議と様々な力あるわざにより、また、みこころにしたがって聖霊が分け与えてくださる賜物によって、救いを証ししてくださいました。
ヘブル2:3-4
- それでも、二人は長く滞在し、主によって大胆に語った。主は彼らの手によってしるしと不思議を行わせ、その恵みのことばを証しされた。
使14:3

5

御子にとどまる

- 語られた福音から書かれた福音（聖書）へ
- また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。愛する、私たちの兄弟パウロも、自分に与えられた知恵にしたがって、あなたがたに書き送ったとおりです。その手紙でパウロは、ほかのすべての手紙でもしているように、このことについて語っています。その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます。2ペテロ3:15-16

6

惑わしに注意

- 私は驚いています。あなたがたが、キリストの恵みによって自分たちを召してくださいました方から、このように急に離れて、ほかの福音に移って行くことに。ほかの福音といっても、もう一つ別に福音があるわけではありません。あなたがたを動揺させて、キリストの福音を変えてしまおうとする者たちがいるだけです。しかし、私たちであれ天の御使いであれ、もし私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音に反することを、福音として宣べ伝えるなら、そのような者はのろわれるべきです。ガラヤ1:6-8

7

惑わしに注意

- むしろ私たちは、神に認められて福音を委ねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせるのではなく、私たちの心をお調べになる神に喜んでいただくとして、語っているのです。1テサロニケ2:4
- 私たちは、多くの人たちのように、神のことばに混ぜ物をして売ったりせず、誠実な者として、また神から遣わされた者として、神の御前でキリストにあって語るのです。2コリント2:17
- 復帰運動が目指すところ。常に聖書に戻る
- キリストの教会の名前の由来？
- 「キリストの教会」があなたがたによろしく」ローマ16:16

8

再臨に備える

- ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。ヘブル4:16
- ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはいけません。その確信には大きな報いがあります。あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは、忍耐です。ヘブル10:35-36
- 惑わしには、自分にとって「好ましいこと」「いやなこと」が用いられる。

9

再臨に備える

- いつも(日頃の生活で)神のみ前に生きる
- キリストといっしょに(とどまって)いれば、キリストが来るときにあわてない。
- ブラーザー・ローレンス(1614-1691)
- ニコラ・エルマン(ラウレンシオ)
- 30年戦争で負傷。36歳の時に洗足カルメル修道会に入会
- ラウレンシオは、料理や靴作りなど身分が低い仕事をしながら神の臨在を体験した。フランスのパリで死去(77歳)

10

再臨に備える

- ラウレンシオの死後、彼の信仰に感銘を受けたノアイユ枢機卿代理ジョゼフ・ド・ボーフォールが談話と手紙を集めて『神の臨在の実践』を出版した。プロテスタントにも影響を与え、ジョン・ウエスレーとエイデン・トウザーが紹介した。



11

再臨に備える

- 神のご臨在の中で継続的に生きる。会話的な祈りを続けた。それができるようになるまで何年もかかった。低い地位にあったが、その生き様は多くの人に感銘を与えた。
- 「敬虔な生涯」300年以上前に書かれた短い本だが今日でも多くの人々の信仰の成長を助けている。

12

再臨に備える

- キリストにとどまっているなら、キリストが現れる時に確信を持てる。
- 再臨に備える方法？ 神の臨在の中で生きる=とどまる
- 再臨を3回続けて言うとは？
- 臨在になる。神の臨在の中で生きる練習をする。